

令和6年度 東京都立練馬工科高等学校 学校経営計画

都立工科高校として、未来を創造するために必要な力を育むため、学びのスタイルとして、課題の解決を目指す学習、ITを活用した学習、企業などと連携した学習を取り入れ、一般教養はもとより、実践的なスキルの習得、ものづくり技能の資格取得の促進、グローバルな視点の育成に加え、最新の技術力に触れる機会を設け、首都東京の産業を幅広く担う人材の育成を目指します。

また、「未来の東京」戦略 version up 2024」や「都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム」に基づく施策の取組を計画的に推進し、都立工科高校唯一のキャリア技術科としての存在価値をブラッシュアップさせていきます。

1 目指す学校

(1) スクール・ミッション

「挨拶を大事にして職業人としての適切な行動ができる人材の育成、働くために必要な学力の定着」を教育目標とし、基礎的な工業技術を身に付け、インターンシップや国際理解教育を通して将来を考え、何事にも誠実に取り組み、人権尊重の精神と多文化共生に基づく職業人としての行動ができる人材を育成します。

(2) スクール・ポリシー

＜グラデュエーション・ポリシー＞育成を目指す資質・能力に関する指針

- 社会的・職業的自立に必要な基本的な学力
- 専門知識や技能習得の基盤となる工業に関する基本的な知識・技術力
- 社会人としてのマナー・態度
- 互いを尊重し適切にコミュニケーションが取れる力

＜カリキュラム・ポリシー＞教育課程の編成及び実施に関する指針

- 基礎的・基本的な学力の定着と向上
- 基本的な技術力の習得
- コミュニケーション能力の向上
- 情報技術の習得

＜アドミッション・ポリシー＞入学者の受入れに関する指針

- 学ぶ意欲と規範意識を持ち、高い人間性を育もうとする生徒
- 自己の能力を高め、切磋琢磨しながら社会に有為となる生徒
- 国際交流に興味・関心を持つ生徒

2 中期的目標と方策

「東京都教育施策大綱」（令和5年3月東京都）において掲げる「自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができる」「他者への共感や思いやりを持つとともに、自己を確立し、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与することができる」生徒を育む。また、「都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム」（令和6年3月東京都教育委員会）に基づき、自ら未来を切り拓く力の育成、生徒目線に立った支援の充実、質の高い教育を実現するための環境整備を推進する。

生徒の学力向上、思考・判断・表現力の向上、規範意識の向上、資格取得の奨励等による学校

教育活動の取組とともに、教育課題に対して組織的かつ適切に対応する。特に、人権教育の推進、道徳教育の推進、グローバル人材の育成、不登校対応の充実、いじめ防止、自殺予防等に係る取組の推進、安全教育の推進、特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応、デジタル技術や情報・教育データの利活用について、総合的な学校教育力の向上を目指す。

(1) 都立工科高校唯一のキャリア技術科としての使命の追求

令和5年度に引き続き、Society5.0時代に創造的な活動により新しい価値の創出や都市課題の解決に貢献できる人材を輩出する工科高校の実現に向けて、東京都教育委員会「都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム」に基づく教育内容の充実、文部科学省「専門学校と高等学校の有機的連携プログラムの開発・実証」に協力する。

生徒が学び続ける力、協働する力、考える力、基盤となる技術力を育むため、生徒の個性を生かしながら社会生活への適応力を向上させ、学校設定教科・科目「キャリアデザイン」による体系的なキャリア教育を通じて生徒自らが主体的に進路実現を果たすことのできる取組を着実に推進する。

- ◎国家資格の取得等による卓越した技能の基盤を有する社会的職業人の育成
- ◎課題解決型学習（PBL：Project Based Learning）の取組と思考力の育成
- ◎上級学校との学びの連携、企業等インターンシップによる実学連携の充実

(2) 多彩な教育課程の編成・実施

専門高校生として必要とされる基本的な学力、社会に開かれた教育課程の編成・実施、探究型の実践的な学びの具現化を目指し、学校設定教科・科目「キャリアガイダンス」の体系化を進路指導部により完成させるとともに、観点別学習評価の精度を高める。

知識・技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性の向上を通じて、知・徳・体のバランスの取れた成長により、生徒自身が自立して生涯にわたり学習する基盤を培えるよう、多彩なチャンネルを用いた教育課程の編成・実施により、社会に求められる学力と技術力を身に付け、国際感覚を育ませ、国際人としての総合的な人間力を段階的に高める。

- ◎学校設定教科・科目「キャリアガイダンス」の体系化、社会に開かれた教育課程の展開
- ◎「東京グローバルゲートウェイ」等による体験型英語学習と国際理解教育の推進
- ◎観点別学習評価の精度向上

(3) 授業力の追求と複合的な支援

教職員の人材育成、校務運営の継承、ものづくり人材の育成は喫緊の課題にある。基礎力診断テストの分析や授業評価の分析による教科横断的な授業改善、確実なCYODの有効活用により「知識習得型」から「課題解決・価値創造型」への授業実践など、パラダイムシフトにおける「授業力」に焦点化した人材開発に取り組む。

教員の指導技術を高める工夫を目指して、OJTによる他、東京都教育研究員、東京教師道場、指導教諭による模範授業、夏季集中講座等により、授業力を中心とした術を段階的に向上させていく。生徒支援では、工科高校資格取得アシスト制度、通級制度、コミュニケーションアシスト講座、職業能力開発センター等の活用を必要に応じてアナウンスし連携を進める。

- ◎生徒一人一台端末、ICTを活用した授業（講義・実習）の確実な実施
- ◎学習指導法の多角的な研鑽と共有、学習成果の検証
- ◎工科高校資格取得アシスト制度の有効活用、関係諸機関との緊密な連携

3 学校経営の基本方針

- (1) 30分授業、習熟度・少人数指導、工業科目実習等の特色ある教育課程を生かし、基礎・基本を確実に習得させ、授業を通して、達成感や成就感を生徒に体得させる。
- (2) 基礎力診断テスト結果を経年で分析し、学力層の変化を追跡し、授業づくりに生かす。
- (3) 生活指導は学校組織全体で取り組み、「東京都子ども基本条例」を遵守し、ルールを守る態度を育て、社会性や規範意識を向上させる。
- (4) 自治体、企業、NPO法人、中学校、上級学校等の関係機関との連携を模索し、生徒の職

業観を育て、自己実現に資する教育活動を堅持する。

(5) ものづくり教育、体験的学習を通して、技能の習得及び各種資格の取得を推進する。

(6) エンカレッジ・スクールとしての取組

- 学力検査によらず学ぶ意欲と熱意を重視
調査書、自己PRカード、面接、作文等による入学者選抜
定期考査によらない生徒評価
提出物や授業単元毎に行う小テストなどによる多様かつ多面的な評価
- 生徒が集中して取り組める授業展開
1 学年「国語」「数学」「英語」各科目における 30 分授業の編成
- 習熟度別・少人数授業の実施
「国語」「数学」「英語」の学習進度に応じたきめ細かい授業の展開
- 体験学習や選択授業の展開
興味・関心のある講座の選択や体験学習、ボランティア活動の展開
- 1 学年 2 人担任制
生徒を大切にしている担任のサポート
- 生活指導の徹底
落ち着きある学習環境と校内秩序の醸成

4 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

① 学習指導

主体的・対話的で深い学び、資質・能力の三つの柱、カリキュラム・マネジメントを深く意識した教育課程を適正に編成・実施・管理する。

- 基礎的・基本的な学力を確実に定着させ、思考力、判断力、表現力の基盤となり得る読解力を磨くことを重点に、段階的到達目標による観点別学習評価により、個に応じた学びの伸長・発展を重視する。
- 授業を主体的・対話的でかつ深い学びを追求し、生徒が主体的に学ぼうとする意欲を育成し、理解する喜びを実感させる授業を、カリキュラム・マネジメントの視点から教科横断的に実践する。
- 体験学習、拠点校実習等を活用し、生徒の職業人としての可能性などを広げさせ、自己肯定感と自己有用感を向上させる。
- 資格取得や検定等の指導を充実させ、多様な分野における技能・技術の定着を目指す。
- 生徒一人一台端末、ICT機器を確実に活用し、効果的な学習指導を実践する。
- 小テストをきめ細かく実施し、学力の定着を図るとともに、評価においては知識量や理解度のみならず、授業への参加状況や学習の過程も重視する。
- 生徒が自ら問題点や課題を発見し、解決方法を探索するなど、授業に探求などを取り入れる「課題解決型学習」(PBL*Project Based Learning)を充実させる。
- 学校図書館の活用を進め、読書活動の充実を図るとともに、高校生書評合戦への参加を促す。

② 進路指導

「東京都教育ビジョン」(第5次)(令和6年3月東京都教育委員会)に基づく、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向けた資質・能力の育成とキャリア教育の充実を図る。

- 学校設定教科・科目「キャリアガイダンス」の体系化を行う。
- 社会的・職業的自立支援教育プログラムの活用や企業インターンシップにより、生徒の個性・特性・適性・能力を把握し、その伸長に努め、生徒の多様な進路希望を実現する。
- 進路指導に関する各種情報のデータベース化、一層の電子化を推進する。
- 学校法人片柳学園・東京工科大学及び学校法人小山学園・東京工科自動車大学校中野校、学校法人小山学園・東京テクニカルカレッジとの連携を深める。

③ 生活指導

スクール・ポリシーを踏まえた教科指導、「都立高校生活指導指針」による生活指導の取

組を推進する。

- 「東京都こども基本条例」に基づく生徒参画型の生活指導を展開する。
- 人権教育を基軸とした生活指導を徹底し、特にいじめの未然防止・早期発見に努め、年3回の調査を実施する。必要に応じて「学校いじめ対策委員会」を開催し、迅速かつ誠実に解決できる学校づくりを推進する。
- 「自殺対策基本法」「自殺総合対策大綱」による生徒のSOSの出し方等の健全育成に資する教育を推進する。
- 社会生活において求められるルールやマナーを習得させ、自転車使用時のヘルメット着用指導や礼節を重んじる態度を育てる。
- 生徒会主体による美化・リサイクル運動等、環境教育の推進を学校全体で取り組む。

④ 特別活動・部活動

「東京グローバル人材育成指針」（令和4年3月東京都教育委員会）に基づく国際理解教育の推進及びグローバル人材を意図的に育成する。

- 生徒会活動、学校行事、委員会活動等を通して、リーダーとなり得る生徒の育成を目指し、地域社会に還元する。
- 全校生徒が意欲的に取り組み、達成感や帰属意識が高まるような学校行事を企画・運営する。
- 特別活動、部活動は、活動指針及び年間活動計画に基づき、生徒、教職員の負担に配慮した現状に即した運営を図る。
- 海外姉妹校交流、専門高校生海外派遣研修の参加等を通じて国際感覚を備えた人材を育成する。

⑤ 美化・健康づくり

「TOKYO ACTIVE PLAN for students」（令和4年3月東京都教育委員会）及び「総合的な子供の基礎体力向上方策」（第4次推進計画）による、生徒の体力向上及び健康の保持増進に努める。

- 共感的理解と受容的態度を基本とした生徒理解の充実を目指し、情報交換会等による情報の共有化を図る。
- 合理的配慮が必要な生徒に対して教育支援委員会を活用して組織的な対応を行う。
- 学校保健委員会を定期的に開催し、心と体の健康づくりを推進する。
- 薬物乱用防止講演会や救急講習等を定期的に実施する。
- 生徒の体力向上及び健康の保持増進に関する取組として、校外において徒歩大会を年1回開催する。

⑥ 募集・広報活動

- 本校の求める生徒の姿を明確にし、ホームページ等による発信力を高める。
- 募集・広報の企画面を校務分掌に一元化する。
- 練馬区中学校PTA連合会主催「中学生対象都立学校相談会」を開催する。
- 授業公開、体験活動、学校見学会、学校説明会を計画的に実施する。学校説明会では教育方針や教育課程等について効果的な説明を行うことにより、中学生、保護者の理解を深める工夫に努める。

⑦ 学校経営・組織体制

「学校における働き方改革推進プラン」に基づく教職員のライフ・ワーク・バランスの取組及び「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」（令和6年3月東京都教育委員会）に基づく働き方改革を推進する。また、服務事故の根絶を図り信頼回復に努める。

- 組織マネジメントの視点から、職層に応じた主体的な学校運営の参画、業務の進行管理を適切に行うことで業務の効率化を導き、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。
- 教育公務員及び東京都職員としての高い使命感を持ち、生徒目線、都民目線で職務遂行にあたる教職員を育成するとともに、服務事故の撲滅を徹底させる。
- 学校評価を踏まえた課題を明確にし、課題に対する共通認識を持ち全体で改善に取り組む。
- 学習環境等、真に生徒の学校生活の向上を目的とした予算編成を行い、計画的な執行及び執行管理を適切に行う。

(2) 数値目標

① 学校経営

- 工科高等学校としての取組に対する肯定的評価 80%以上
- 生徒在籍率 90%以上
- 服務事故 0 件

② 学習指導

- 特色ある教育課程の編成に対する肯定的評価 80%以上
- 生徒一人一台端末、I C T の授業への活用に対する肯定的評価 80%以上
- 授業力に対する肯定的評価 70%以上

③ 進路指導

- 進路決定率 95%以上。
- キャリアガイダンス等進路指導の充実に対する肯定的評価 75%以上
- 上級学校、企業連携の取組に対する肯定的評価 80%以上

④ 生活指導・特別活動・部活動

- 規範意識の醸成に対する肯定的評価 80%以上
- 生活指導の取組に対する肯定的評価 70%以上
- 学校行事の充実に対する肯定的評価 70%以上

⑤ 美化・健康づくり

- 教育相談体制に対する肯定的評価 80%以上
- いじめ防止の取組に対する肯定的評価 80%以上
- 校内美化の取組に対する肯定的評価 80%以上

⑥ 募集・広報活動、その他

- 推薦入学者選抜応募倍率 1.3 倍以上
- 一般入学者選抜応募倍率 1.0 倍以上
- ホームページ充実に対する肯定的評価 90%以上